

海況速報

平成3年度 第1号 (通算 No.19)

平成 3年 4月 25日

北海道立水産試験場

4月(中旬)の海況

【日本海域】

表面水温は、北部の利尻・礼文周辺での5℃から、津軽海峡西口沖合での10℃くらいの範囲となっています。特徴的な分布として、中・下層を中心に、一つは武蔵堆海域への冷水の南下と道南沖では、特に江差～松前沿岸域への冷水の張り出しです。もう一つの特徴は、留萌沖合での暖水域の広がりでした。

前年と比べると、全般に道央を中心に表面水温は高めですが、下層では低めで、特に江差～松前沿岸域でかなり低めとなっていました。

なお、余市での4月の沿岸水温は、上旬、中旬、平年比でそれぞれ +1.4℃、+0.8℃となっています。

【オホーツク海域】

沿岸域の表面水温は、網走沖まで5℃台、知床沿岸域でも4℃台と順調に昇温しています。中・下層でも3～4℃以上の暖水が沖合へ幅を広げて知床沖まで達していました。

前年と比べると、全般に高めです。

【太平洋海域】

沿岸域の表面水温は、根室や広尾沿岸域でまだ1℃台の低水温がみられましたが、ほかの道東～日高沿岸域では2～3℃台でした。胆振海域では4～5℃台、津軽海峡東口では8℃くらいで、沖合では局所的に昇温していた地点もみられました。

水温分布の特徴として、東経143～145度間では暖水の北上先端部分がみられ、また、北緯42度、東経146度付近を中心に暖水（100m：5℃）がみられています。後者は、人工衛星画像から、暖水塊の一部を示しているものと思われます。

前年比較をすると、道東、道南海域とも全般的に、北部（北海道沿岸側）では高めですが、南部（道東では北緯41度付近の沖合域）では低めです。

資 料 【観測期間】

稚内水試（北洋丸）	4. 9 - 11	（道北日本海域）
稚内水試（北洋丸）	4.15 - 18	（オホーツク海域）
釧路水試（北辰丸）	4.15 - (20)	（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	4. 9 - 11	（道南太平洋海域）
中央水試（おやしお丸）	4.12 - 15	（道央～道南日本海域）

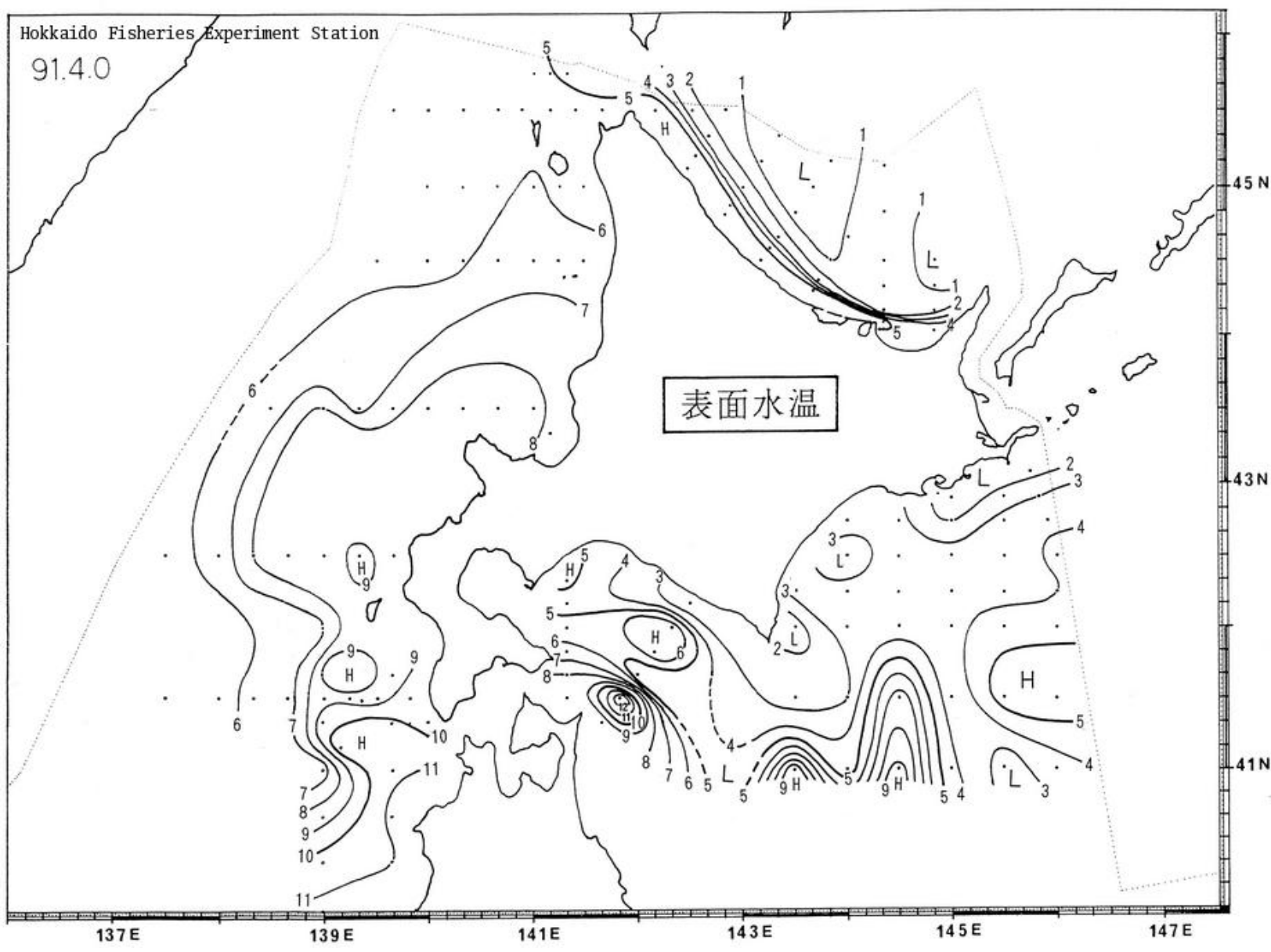
この外に、日本海マス調査の漁場観測から一部、4.17 - 23までのデータを使用しました。

（中央水試 海洋部）

Hokkaido Fisheries Experiment Station

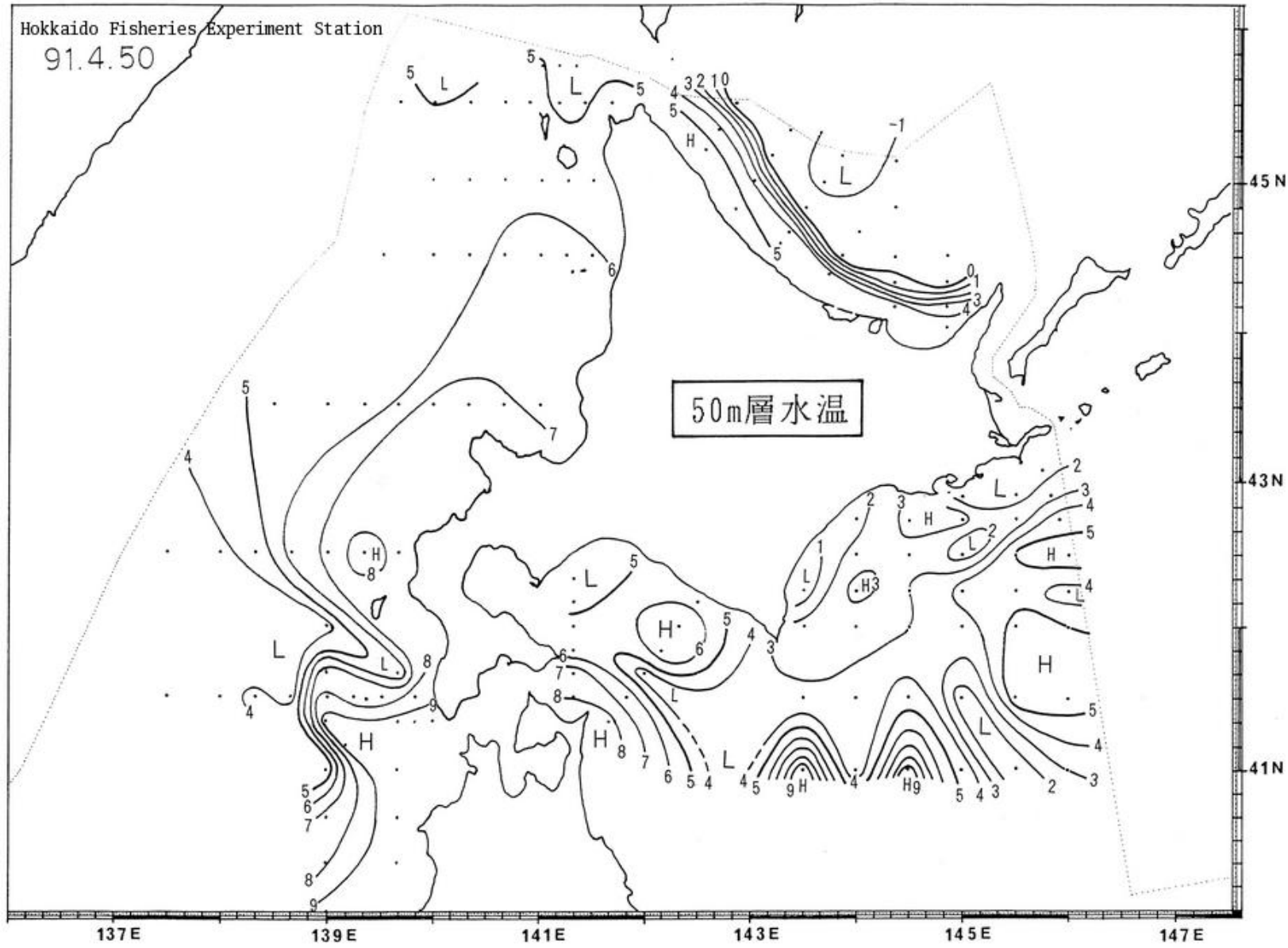
91.4.0

表面水温



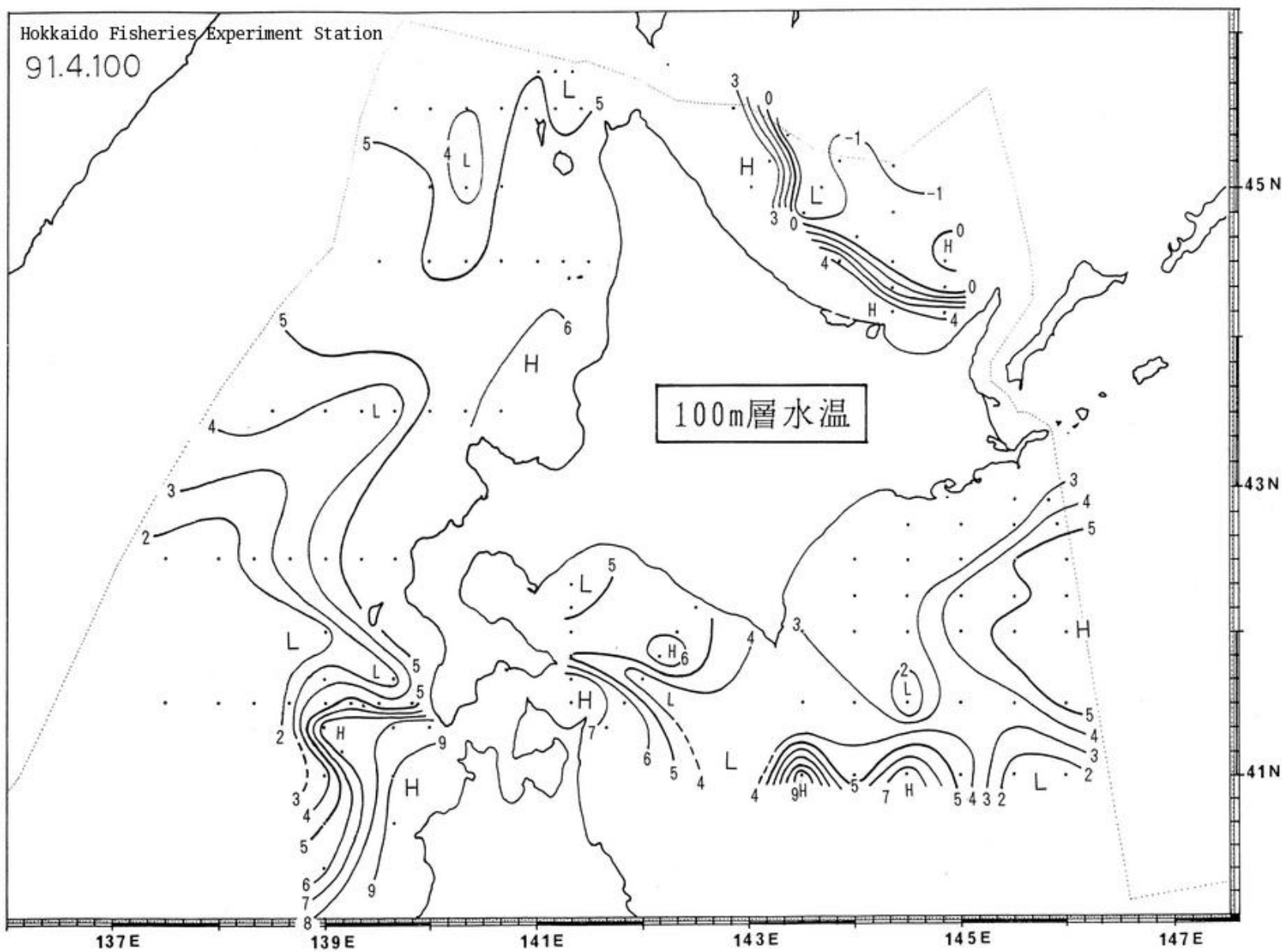
Hokkaido Fisheries Experiment Station
91.4.50

50m層水温



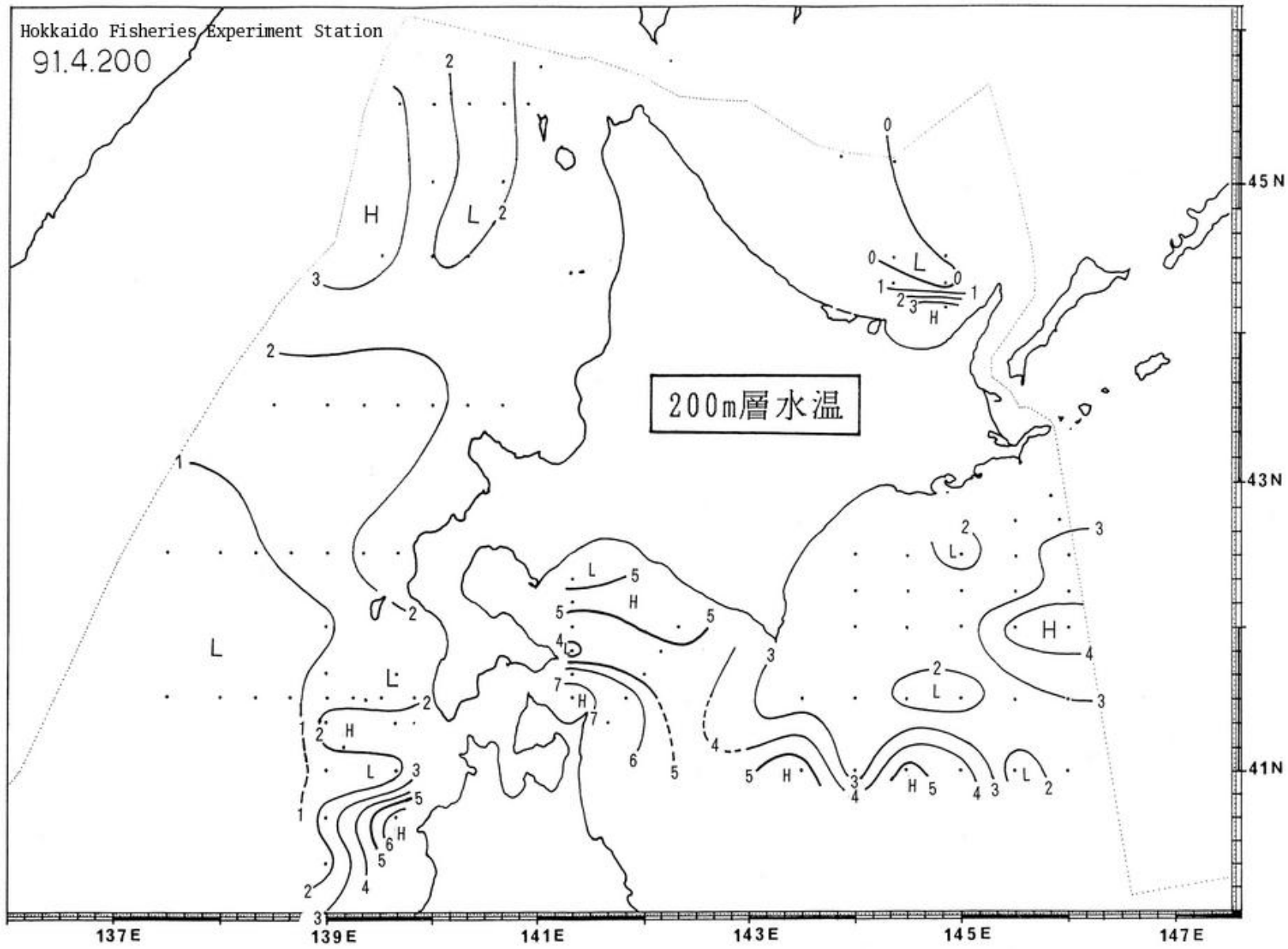
Hokkaido Fisheries Experiment Station
91.4.100

100m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station
91.4.200

200m層水温



137 E

139 E

141 E

143 E

145 E

147 E

45 N

43 N

41 N